

## 植物多様性センターの「カキノキ」

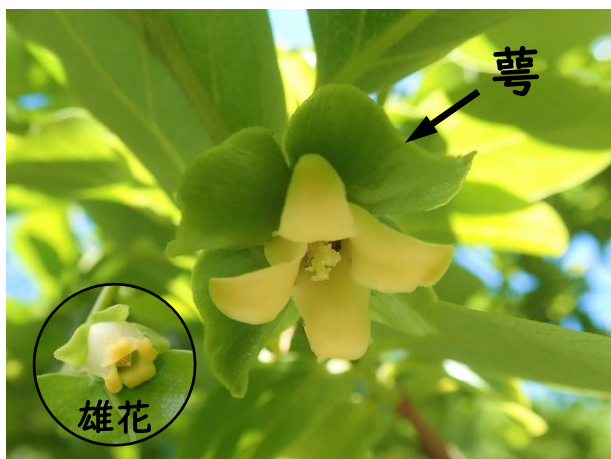
果樹林エリアで実をつけていたカキノキが色付き始め、秋の訪れを感じます。カキノキは私たちに馴染み深い果樹ですが、食用以外にも様々な形で利用されているのをご存知でしょうか。例えば、食べるときにいつも捨てているへたは、じつは薬用にも用いられます。柿蒂(してい)と呼ばれ、しゃっくりの特効薬になるそうです。また、カキノキのへたには成長ホルモンが含まれており、果実が発育するための重要な役割を担っています。花が咲いている時の萼の部分そのままへたになります。



色付いた実:9月上旬頃



なり始めの実:6月上旬頃



淡黄色の花(雌花):5月中旬頃  
大きな萼が目立つ。



園内のカキノキ:樹高2.3m程、  
野生では10m程になる。